

第52回 徳島県美術展

The 52nd Annual Art Exhibition of Tokushima Prefecture

第1期 平成9年11月8日(土)～16日(日) 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザイン 第2期 平成9年11月18日(火)～25日(火) 書道(前期11月18日～21日 後期11月22日～25日)
会場 徳島県郷土文化会館 主催 徳島県美術家協会・徳島新聞社・徳島県民俗文化祭開催委員会 第1回 徳島県民俗文化祭主催事業

第52回

〈平成9年度〉

徳島県美術展

作品集

日 本 画
洋 写 真
彫 刻
美 術 工 芸
書 道
デ ザ イン

主催

徳島県民文化祭開催委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後援

NHK徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③受賞歴など。



【日本画】 那波多目功一
①東京都②日本美術院同人③院展日本美術院賞、同文部大臣賞など。



【書道】 小山 やす子
①東京都②日本書道美術院理事、日展会員、毎日書道展参事③日展会員賞など。



【洋画】 松樹 路人
①東京都②独立美術協会会員、武蔵野美大名誉教授③安田美術財団東郷美術館大賞、芸術選奨文部大臣賞など。



【書道】 甫田 鷄川
①奈良県②日展理事、日本書芸院副理事長、読売書法会常任総務③日展内閣総理大臣賞、日本芸術院賞など。



【写真】 細江 英公
①東京都②日本写真家協会副会長、東京工芸大芸術学部教授③芸術選奨文部大臣賞など。



【書道】 石飛 博光
①東京都②創玄書道会理事、日展会員、全日本書道連盟監事、近代詩文書作家協会常任理事、日展審査員(96年)③日展特選など。



【彫刻】 石井 厚生
①東京都②行動美術協会会員、多摩美大彫刻科教授③現代日本美術展、神戸須磨離宮公園現代彫刻展、石の彫刻国際シンポジウムなどに出品。



【デザイン】 U. G. サトー
①東京都②日本グラフィックデザイナー協会理事、東京イラストレーターズ・ソサエティ会員③ラハチ・ポスター・ビエンナーレ金賞、ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ金賞など。



【美術工芸】 栗木 達介
①京都府②国際陶芸アカデミー会員、京都市立芸大教授③日本現代工芸展大賞、日展特選、日本陶磁協会賞など。

審査員総評



〈写真〉

審査員 細江英公
(日本写真家協会副会長)

阿波踊りの写真など、地元で撮ったものが多く、徳島の人徳島が好きなんだなとつくづく思った。各地の県展の審査をしていると、確かに県民性はあるが、海外で撮った作品も多く、「もっと県内の写真を撮ってほしい」と思うのが普通だ。今回は、それが珍しく少なかった。レベルはかなり高く、上に近い中の上というところか。

高齢者や女性の出品が多いのもすばらしい。写真は、人生経験が表れるものだし、女性のもつ直感や繊細さを発揮しやすいメディアだ。写真集の出版や展覧会の開催といった高い目標を

定めて頑張ってもらいたい。

四国放送社長賞の川端武夫「誕生」は、病院での出産を見事にとらえたドキュメンタリー性の高い作品。こういう写真は、モデルになってくれる人の同意なども必要なため、かつてはほとんど考えられなかった。最近は、夫が出産に立ち会うケースなども増えており、そうした出産の新しい姿をとらえている。被写体になってくれたのは知人だそうだが、夫が写し込まれていれば、よりすばらしいものになっただろう。

柳本正「ひととき」は、橋の欄干に止まったサギを見逃さず、しかも背後にオートバイを入れたのが効果的。ストレートに撮った写真だが、瞬間をとらえた面白さがある。

坂田能啓「ザウルス」は、懐中電灯のようなものを用いて、恐竜の形を描いたようだ。風景と光によって、もう一つの風景をつくり上げていく写真術はよく見られるが、こういう取り組みを通して、よりクリエイティブな作品につながっていくと思う。

逢坂登「春景」は、上部と下部に違う花を写し込んでいるが、平面的に撮れているのがいい。多重露光で撮ったそうだが、うまい合成だ。



〈彫刻〉

審査員 石井厚生
(多摩美術大学教授)

幅広い素材を使った作品が見られたが、レベルが高いのとそうでないものの差がはっきりしていたように思う。抽象と具象の割合がほぼ一対一と、どちらにも偏らず、バランスが取れていたのはよかった。

彫刻は概念(テーマ)・造形力・表現力の三つの要素からなるが、そういう基本的なことよりも、抽象・具象を問わず、作品がどれだけインパクトを与えるかを審査のポイントにした。

その点、県美術家協会賞の阿部佳代「灰色の樹」は荒々しいタッチによって、作品を生き生きとさせることに成功している。

作者が制作過程で素材と格闘した様子がかがえ、パワーがひしひしと感じられる力作だ。

準特選の居上真人「フラミンゴになりたいゾウ」は、冷たい石のイメージを軽妙でユーモラスなものにしている。表面がつるりとした本体と、ざらざらした土台とのバランスがいい。

同じく準特選の笠井正彦「共有」は、石で制作したにもかかわらず、重さを感じさせない面白い作品だ。DNAのらせん構造のような造形がリズムカルで、新しい試みを思わせる。バランスを考えた色の配置もうまい。

写真



特選・四国放送社長賞 誕生 川端 武夫

写真



招待 氷河湖 増田 清次



招待 KŌBE —1997— 井上 光雄



招待 早春 西條 征二



招待 五月 木田 英之



招待 牧歌 勝西 雅夫

招待
パタクさい
藤井
梵



招待 さあーみんなで踊ろう 武内 亨



招待 憩い 笹田 敏雄



招待 極楽浄土 榎淵 魏



招待
猫
酒井 博司



招待 遭遇 上野 照文



招待 秋日 橋本 圭祐



招待 藍色の楽園 吉野川 (三野町にて)
三好 和義



招待 田園のリズム 森 賢一



招待 視線 安長 剛



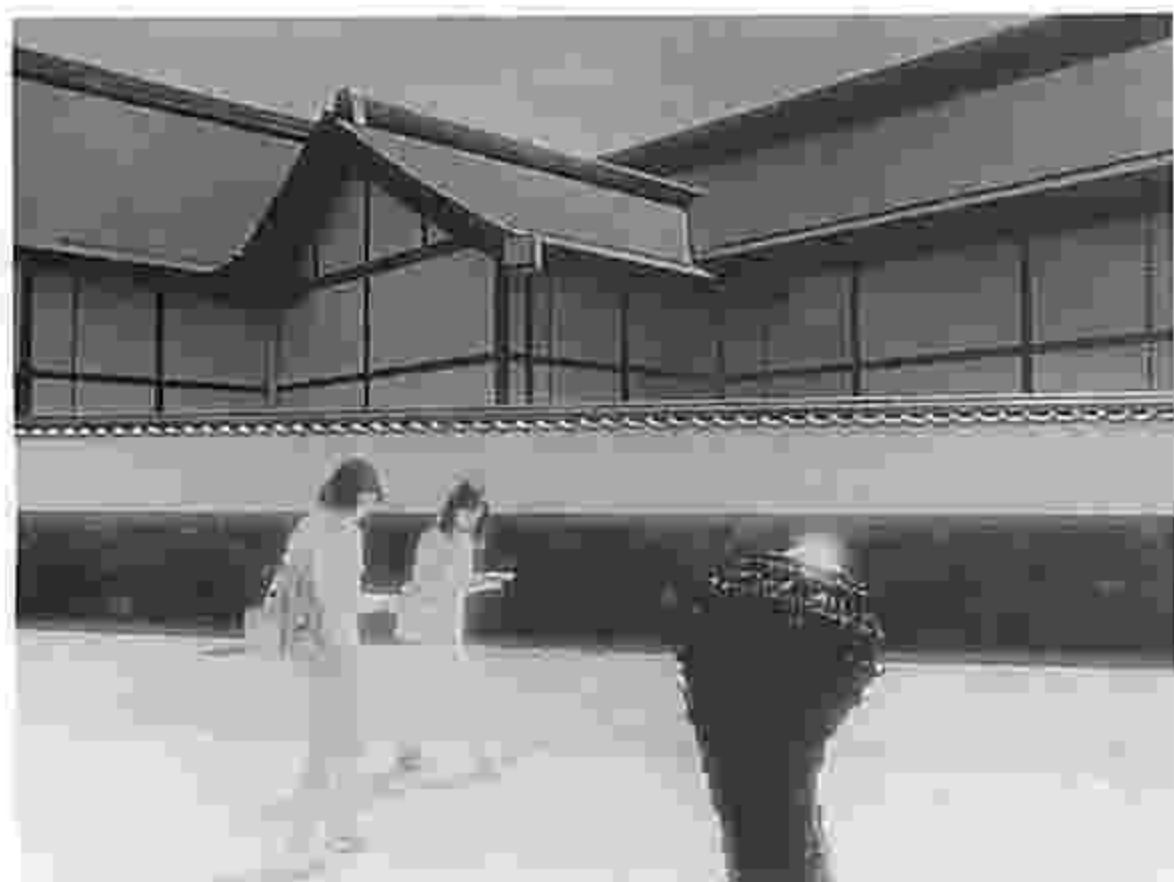
招待 紅葉 前浦 芳久



招待 光芒 林 敏彦

招待
Red Pepper 荒井 賢治





招待 光景 多田 晴美

招待 吉野雨情 古井 謙吉



無鑑査 青い世界 大和 健司

無鑑査 吉日 中野 建吉





無鑑査 投網 船越 正文



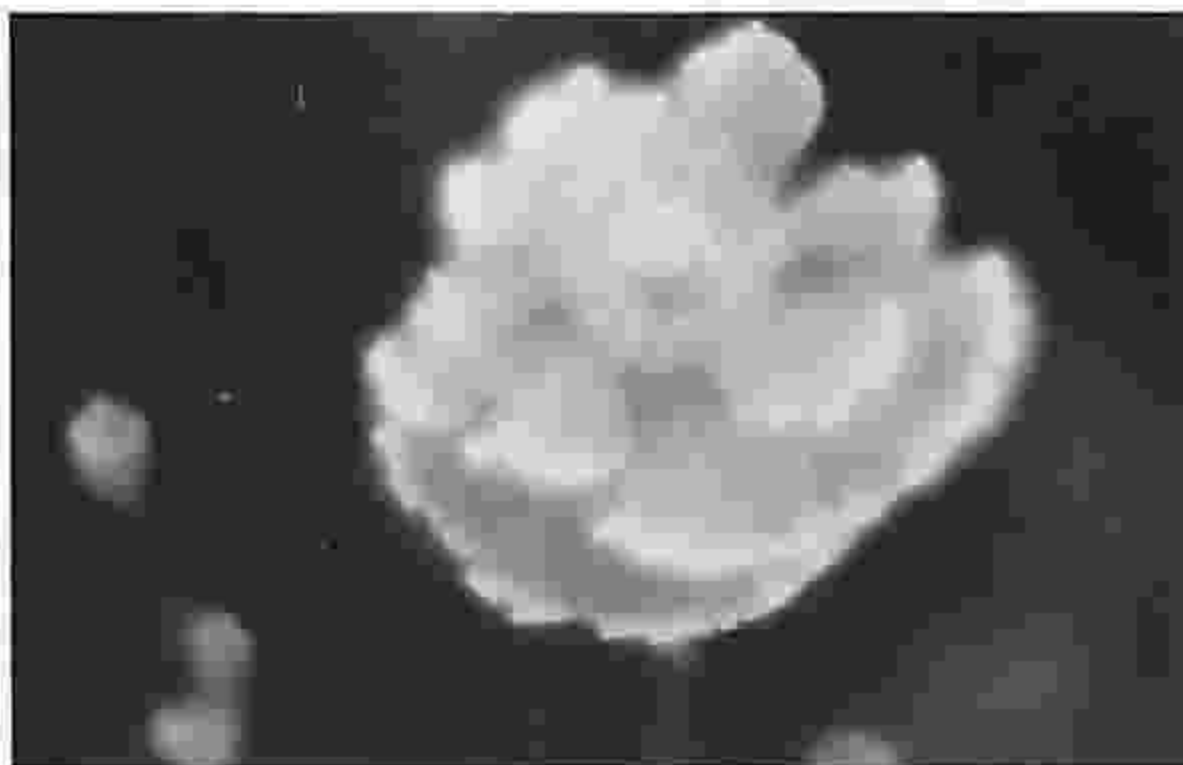
特選 ひととき 柳本 正



特選 ザウルス 坂田 能啓



特選 春景 逢坂 登



準特選 ポピー 井上 翔



準特選 夏休み 多川 静守



準特選 孤行 久保 英樹



準特選 踊り前のひととき 佐野 始志

準特選
雪の日
井藤
光章

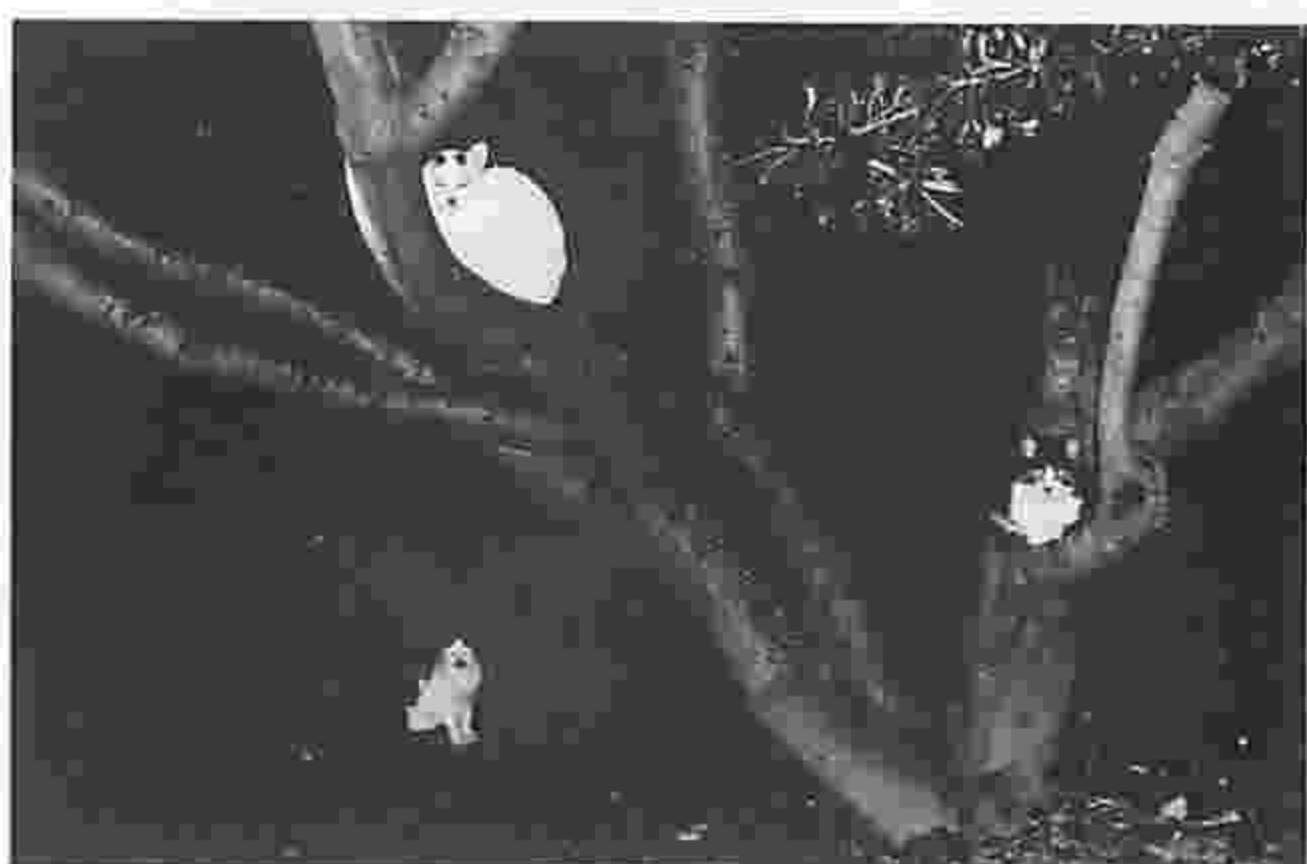
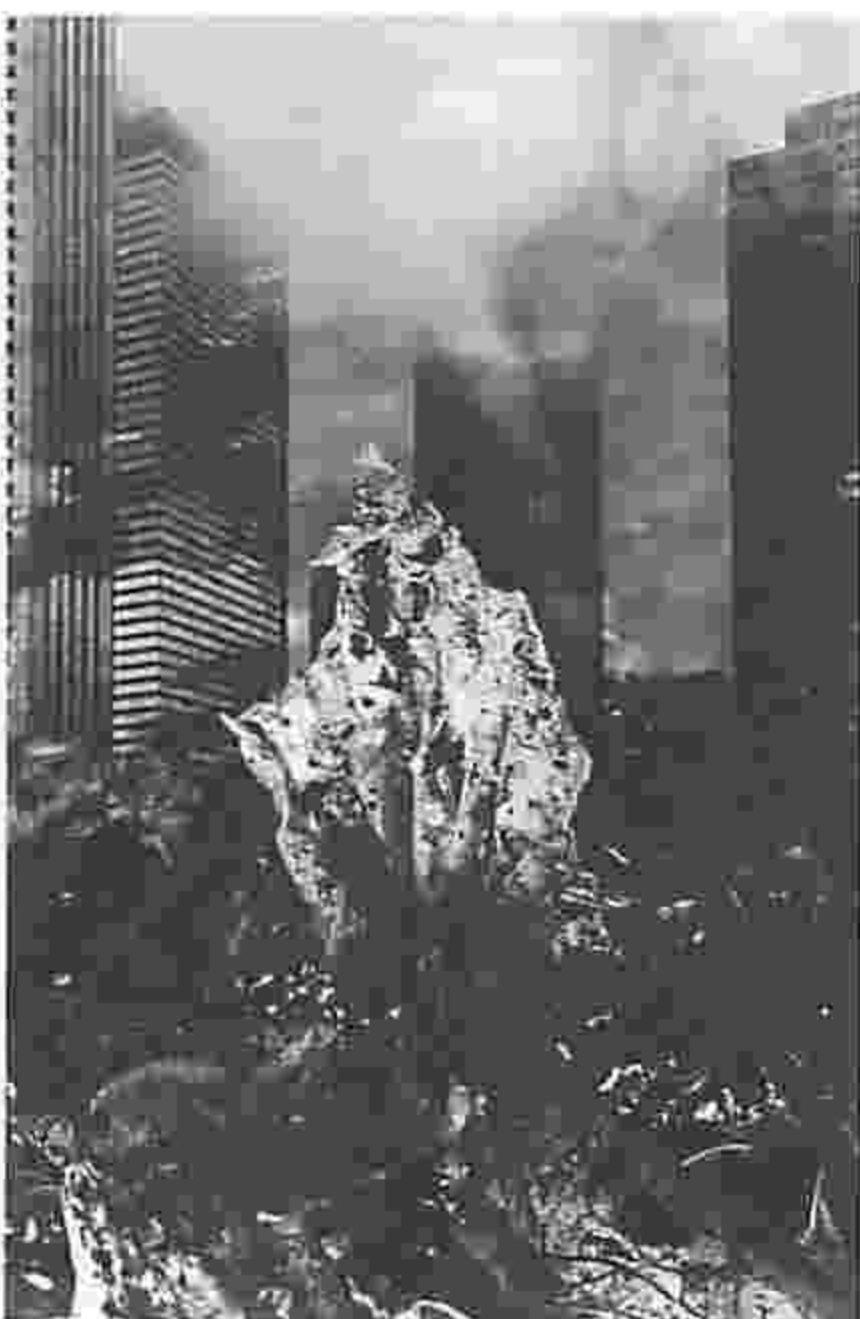


準特選 航跡 川真田慶治



準特選
道
尾崎
利男

準特選
黙示
吉村
敏嗣



奨励賞 猫 野藤みきよ



奨励賞 走る 増田 寿

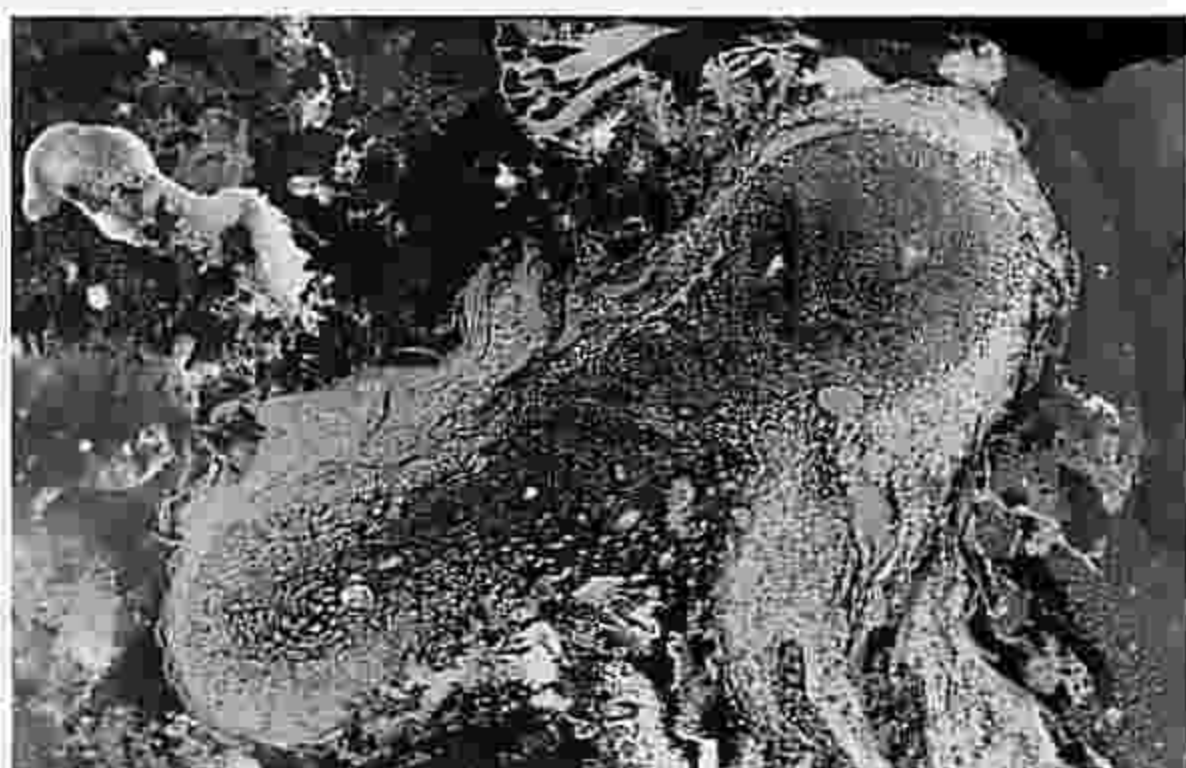
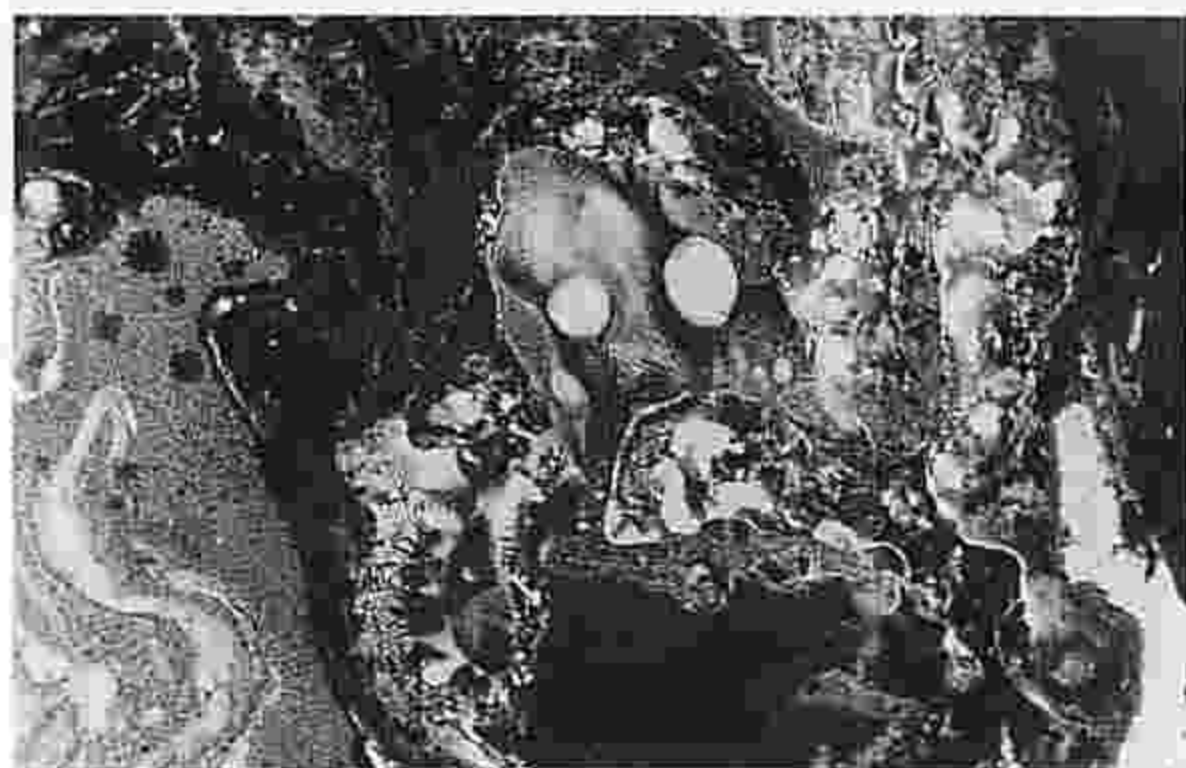
奨励賞
蓮華
尾崎
益貴



奨励賞
五神太鼓
菅蔵
数久



奨励賞 海辺 国見 良幸



奨励賞 彩り 大野 泰子



奨励賞
蓮田
今出
弘



奨励賞 出番前 大津 勝治

第52回県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
出品数		72	265	1,216	44	161	1,333	143	3,234
人数		63	197	244	39	115	820	116	1,594
入選	率	54.2%	42.6%	19.6%	59.1%	58.4%	40.1%	37.8%	34.0%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	31	100	218	21	86	501	46	1,003
	計	39	113	238	26	94	535	54	1,099
落選	率	45.8%	57.4%	80.4%	40.9%	41.6%	59.9%	62.2%	66.0%
	落選	33	152	978	18	67	798	89	2,135
特別等	特別出品		3		1	1	5	1	11
	招待	5	9	20	6	9	40	3	92
	無鑑査			3	1		2		6
	賛助出品	4	12		1	2	1	1	21
	計	9	24	23	9	12	48	5	130
展示数		48	137	261	35	106	583	59	1,229

◎特別賞は特選の内数である。